

研究上の発想を柔軟にし、新たな研究アイデアを生み出すには、アカデミア、産業界、外国人、日本人、性別や年代、そして文系や理系などの研究分野の違いを越えて交流することが効果的と考えられる。URAがそのような機会を設定する。

### 本事業のポイント

新たな着想を得る・ネットワークを構築するなど、研究の可能性をふくらませる段階から、実際の共同研究プロジェクト立上げ段階まで、多様な方策によりURAが幅広く支援する。

### 取り組み実績と得られた成果

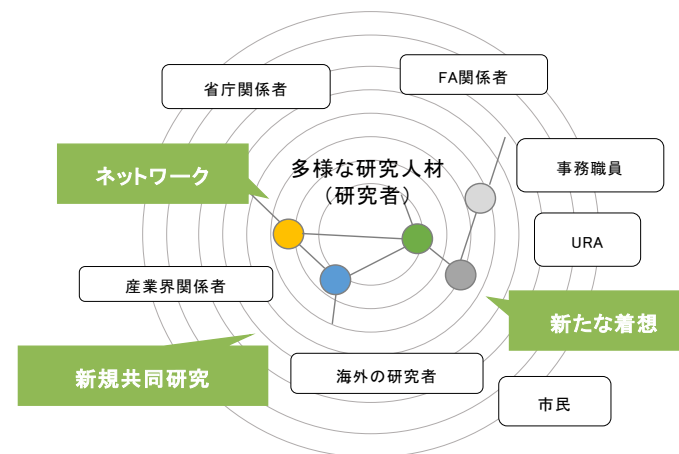
- ・「分野/立場/組織/セクターを超えて交流したい」「新たな取組に挑戦したい」というニーズに応え、多様な機会を整備
- ・URAによる研究者マッチングにより、国際共同研究の資金獲得等に成功

#### ① 分野/立場/組織/セクターを超えた交流・議論の場の創出

- 分野を超えた本学の優秀な若手研究者の交流を促進する「SAKIGAKEクラブ」を企画・開始
- 立場/組織を超えて議論する「中央省庁等出向者交流会」など様々なイベントを企画・運営

#### ② 新たな研究プロジェクト立上げ支援

上記の交流・議論の場の企画・運営に加え、URAのための研究データ基盤を新たに構築・活用し、研究者のマッチング、チーム形成支援を行い、競争的研究費への応募を支援等



### 今後の課題

- ・さらに多様な立場・セクター等からの参加を促すための場の企画及び主催体制の多様化
- ・共同プロジェクト立上げのための企画・マッチング機能の強化
- ・研究力強化を支える人材の多様化への貢献
- ・取組意図の更なる明確化と検証・改善の実効化

人材の多様性を活かした更なる研究力強化